

人形劇団クラルテ「おひさま劇場」チケット発売開始

寝屋川市立市民会館では、未就学前のお子様を対象に人形劇の後援を
9月22日(火・休)11:00からと14:00からの2回公演を実施。
チケット販売を7/2(木)10:00から開始する

寝屋川市立市民会館では、寝屋川ファミリー劇場として人形劇の上演で定評がある人形劇団クラルテを招聘し、就学前の多感な子供さんに、仲間との友情や大切さ伝えると共に、上質な舞台芸術に触れることで、豊かな感受性を養う機会の提供を目的に、人形劇の公演を実施する。

おひさま劇場は小規模な会場で実施する乳幼児向けの公演で、2本立て約60分の公演。今回、寝屋川市立市民会館では、「さかないっぴきなまのまま」と「ふつうのくま」を上演する。

いずれの演目も人と人のつながりや絆の大切さを描いた作品で、殺伐とした現代社会において、観劇を通してどこかホッとする心が温まるような時間を提供し、親子で舞台を観劇することで、親子の絆も深める機会として頂きたい。

人形劇団クラルテ「おひさま劇場」

- ◆日 時：2026年9月22日(火・休) ①11:00開演(10:45開場) ②14:00開演(13:45開演)
- ◆会 場：寝屋川市立市民会館 小ホール
- ◆演 目：さかないっぴきなまのまま
ふつうのくま
- ◆入場料：子ども500円(小学生以下) 大人[前売]1,000円/[当日]1,200円
親子ペア1,200円[前売]/[当日]1,500円
- ◆チケット発売場所：寝屋川市立市民会館 TEL.072-823-1221
(トールツリーオンラインシステム <https://ticket.kxdfs.co.jp/kpb-s/showList>)

◆さかないっぴきなまのまま

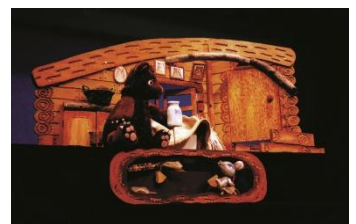
ある時、ねこのこどもは、「天気の良い日はランラン♪・・・」と散歩に出かけます。ねこのこどもはお友達が欲しいなと思っていたのですが、最初に出会ったのは長くてにりよろにりよろした“へび”でした。「こんなへんなのじゃなくて」と、ねこのこどもはへびを無視してどんどん進みます。と、そこへ「何か」が襲ってきたのです。友達ができた嬉しさが伝わってくる作品です。



◆ふつうのくま

くまの家には昔から空を飛ぶ赤い布がありました。でもこの布に乗って空を飛んだのは、くまのおじいさんのおじいさんのおじいさんぐらいで、ふつうのくまはみんな飛びたいと思うけど、飛ぶことはできません。ある日、くまは赤い布を持って出かけました。それを見てねずみは「もうくまは帰ってこない」と思い、空を飛ぶくまではなく、ふつうのくまでもずっと一緒の方が良かったと泣きました。ところが、くまは帰ってきたのです。空を見事に飛んで。

二人は並んで散歩に行きました。そして「今の今がしあわせだね」とそっと風につぶやきました。友達との別れと出会いの感動をお届けします。



◆人形劇団クラルテ「おひさま劇場」

LA CLARTÉ(クラルテ)は、フランス語で“光”という意味です。

人形劇団クラルテは、第二次世界大戦の後の焼け跡から生まれました。ヨーロッパでは、第一次世界大戦が終わった後、焼け跡の隅々に、人々の荒廃した心に文化の火を灯そうと立ち上がった方々が、文化運動「クラルテ・ムーブメント」を興しました。クラルテはそこからとられました。

そんな人形劇団クラルテは、子どもさんたちが生の舞台芸術に触れ、豊かな感性を育ててほしいと願い、人形劇を作り上演し続けてきました。

市民会館などの大ホールや学校の体育館、幼稚園の遊戯室やイベント会場、野外ステージまで、人形劇はどんなところでも上演出来ます。また、大人から子どもまで、幅広く楽しめる作品を上演します。

今回の寝屋川市立市民会館の公演でも、殺伐とした現代において、子どもさんから大人の方々まで、心に文化の灯がともり生活が少しでも豊かになることを切に願います。

【お問い合わせ】寝屋川市立市民会館 池上・辻井
メールアドレス：info.neyagawa-kaikan@kpb.co.jp TEL：072-823-1221